



PROFILE Masaya Hiramoto

平成13年10月 総務省採用
自治行政局選挙部管理課
平成15年 4月 石川県総務部地方課
平成17年 4月 大臣官房会計課
平成19年 4月 公営企業金融公庫管理調査部管理課管理第一係長
平成20年10月 地方公営企業等金融機構融資部審査室主査 兼 融資部融資管理課管理係長
平成21年 6月 地方公共団体金融機構融資部審査室主査 兼 融資部融資管理課管理係長
平成22年 4月 自治行政局行政課行政第四係長
平成24年 4月 大臣官房総務課審査・調整第二係長 併任
大臣官房企画課政策室室員
平成26年 4月 現職

自治財政局財務調査課財務調査係長
平本 勝也

全国の友人とともに 地域を元気に

仕事内容
健全な地方財政運営への第一歩

今、地方財政を巡る状況は非常に厳しいと言われていています。過去に借り入れた地方債の元利償還が大きな負担となっていることに加え、高齢化の進展により社会保障費は今後も増加し、更には公共施設の老朽化に伴う維持更新費用も今後の大きな財政需要となることが予想されています。一方で、人口減少により今後大幅な税収増も見込めない状況にあります。こうした中で、今後の地方財政の運営に当たっては、限られた財源をいかに有効に、賢く使うかを考えていかなければなりません。

私が主に担当している業務は、地方財政の現状を把握することです。具体的には、各地方公共団体の財政担当者から、予算・決算を通じた財政状況等についてヒアリングを行っています。このヒアリングを通じて、地方公共団体で今どのような財政需要が生じているのか、今後どのような財政課題が見込まれるのかを正確かつ具体的に把握することが地方財政の健全な運営を考えるための第一歩だと思って取り組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと
経験を通じて成長できる職場

地方自治制度を考えるに当たっては、地方自治の現場のことを知らなければなりません。総務省では、入省して本省での勤務を経験した後、地方公共団体に出向し、若手職員として地方自治の現場の経験を積ませてもらえる機会があります。私も、石川県庁で2年間お世話になりました。災害の査定で現地に赴くために雪降る山の中を歩いたことはいい思い出ですし、県内市町村の合併に向けた取組では合併と言う目標に向かって県・市町村の皆さんと一緒に努力したことなど貴重な経験を数多く積ませていただきました。

こうした経験があったからこそ、総務省に戻ってきてから、我が国全体にわたる地方自治制度の枠組について考えるに当たり、地方自治の現場を具体的にイメージしながら考えることが出来ました。また、国からの立場だけではなく、地方の立場になって考えることもできるようになったと感じています。

総務省は、日本全体の枠組を考えながら、東京にいただけでは味わえない地方自治の現場を経験することで自分を大きく成長させることのできる魅力的な職場だと思います。

Private Time

休日は、野球観戦。地元の球場で、応援しているチームの試合があるときは、勝利を信じて応援に行きます。残念ながらあまり勝つことはありませんが、だからこそ、たまに勝ったときの勝利の喜びは格別です。いつの日か優勝する日を信じて、これからも応援に行きます。



PROFILE Yohei Nishiwaki

平成15年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
併任 自治財政局財政課管理審査専門官付
平成16年 4月 自治財政局財政課
平成17年 4月 鹿児島県総務部地方課
平成18年 4月 鹿児島県総務部市町村課
平成19年 4月 自治税務局固定資産税課資産評価室
平成21年 4月 大臣官房政策評価広報課評価専門職
平成23年 4月 自治税務局固定資産税課
資産評価室家屋第一係長
平成24年 4月 併任 自治税務局固定資産税課
資産評価室家屋第二係長
平成26年 4月 現職

自治税務局都道府県税課
法制係長
西脇 陽平

「税」を通じて、できること

仕事内容
奥の深い税の世界

みなさん、税金をいくつ知っていますか？私が学生の頃は消費税くらいしか知らなかった気がします。消費税といえば税率は8%ですね。この8%は、国が課税する分(消費税)と都道府県が課税する分(地方消費税)の税率の合計です。国が課税するものは国税、都道府県や市町村が課税するものは地方税と分類されます。自治税務局では、この地方税の基本的な制度設計を行っています。私が所属する都道府県税課では、都道府県が課税する税を担当しています。

税は社会や経済、国民生活に密接に関連します。制度設計に当たっては、教育や福祉、消防等生活に密着したサービスを提供する自治体の税収に与える影響及び社会・経済に与える影響の把握、諸外国の税制との比較などの大きな話から、個々の納税者の負担がどうなるかなどの個別的な話まで、非常に幅広く奥の深い検討を行います。そこで得られる経験や知識は必ず皆さんの好奇心を満たしてくれると思います。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと
地元、好きですか？

地方自治に興味がある方は、地元に元気にしたい、地域が元気になるための役に立ちたいと考えている方が多いのではないのでしょうか。総務省にはそんな熱い思いを持っている人が集まっています。そして、自分の地元だけではなく、日本全国のみんなの地元に元気にしたいと考えている人がたくさんいます。都道府県や市町村が地域の活性化や地域の実情に応じた行政を行うために欠くことのできない、どの自治体にも共通する行政、財政、税制といった基本的な制度や法令を所管している総務省は、そんな思いを実現できる大きな可能性がある職場です。例えば、自治税務局では、地方税の充実を図ることで、自治体が自由に使える財源を増やし、国に縛られない独自の地域活性化策を進める手助けができます。これは総務省でしかできないことです。あなたの地元への思いを総務省で実現してみませんか？

Private Time

週末は家族団らんです。平日だと帰宅しても子どもは既に寝ているため、家族でじっくり会話できるのは週末くらい。子どもから保育園の話の聞いたり、みんなで外出したり、家族の時間を過ごしています。子どもの成長を実感した時は、嬉しい反面、そんなに早く成長しなくても…と寂しさが入り交じった複雑な気持ちになります。

